

# 『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーターの ネットワーク化を図るために ～ファシリテーター及び行政支援の視点から～

広島県立生涯学習センター  
社会教育主事 大下展弘

## 調査研究の概要

『親の力』をまなびあう学習プログラム（以下「親プロ」という。）を持続可能な取組にするためには、「親プロ」の進行役であるファシリテーターの資質の向上などが必要であり、そのためにはネットワーク化が有効な手法である。本調査研究では、そのネットワーク化の方法について、ファシリテーターの現状及び県内の実践事例をもとに示している。ただし、これは断定的なものではなく、一つの参考例である。

広島県では、「親プロ」の取組を平成 18～19 年度においては文部科学省委託事業「家庭教育支援総合推進事業」により、平成 20～22 年度では単県事業「家庭教育応援プロジェクト事業」として県が主体となって取り組んできた。平成 23 年度からは、単県事業「家庭教育支援事業」として、市町に主体をシフトし、その取組を支援している。こうした事業を通して、平成 25 年度末現在で県内に 599 人のファシリテーターが生み出された。県内の様々な場で「親プロ」講座を進行し、参加者に有意義な講座を行うことができている。

その一方で、課題も見えてきている。ファシリテーターの稼働率の低下、県が行う研修への参加者の偏りなどである。このような課題に対して、ファシリテーターのネットワーク化を行い、ファシリテーターと行政とが一緒になってこの課題に向けて取り組むことで「親プロ」を持続可能な取組へと進めることができると考える。

ファシリテーターのネットワーク化については、県内にもいくつかの市町で取組が進められている。いずれも行政とファシリテーターの役割分担がなされ、お互いに担う部分が明確にされている。まだネットワーク化が図られていない市町にとっては、そのような取組から参考になる面も多々あると考える。

ファシリテーターのネットワーク化は、そうすることが有効なことであると思ってもなかなか進めることができないのが現実である。本研究の最後に「ネットワーク化の手引き」として、一例を示したが、各市町の現状を踏まえ、どのように取り組むことが有効かを市町と県が共に考えることが重要なことであると思料する。この一例を参考として有効手段を市町と共に進めていければと考えている。

## 調査研究の構成

テーマ設定の理由

- 1 「親プロ」とは
- 2 「親プロ」ファシリテーターの現状
- 3 ネットワーク化を実践している事例
- 4 今後の方向性
- 5 ファシリテーターのネットワーク化を図るために
- 6 参考文献、ヒアリング日時等

## 「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーターのネットワーク化を図るために

～ファシリテーター及び行政支援の視点から～

広島県立生涯学習センター  
社会教育主事 大下展弘



## テーマ設定の理由

「『親の力』をまなびあう学習プログラム」(以下、「親プロ」という。)を持続可能にするためには、ファシリテーターのネットワーク化が必要である。しかし、現在ネットワーク化が図られている市町は少ない。そこで、先進事例をもとに、ファシリテーターのネットワーク化の今後の方向性を示し、現在ネットワーク化が図られていない市町へ、示唆を与えるものとしたと考え、本テーマを設定した。

## 目 次

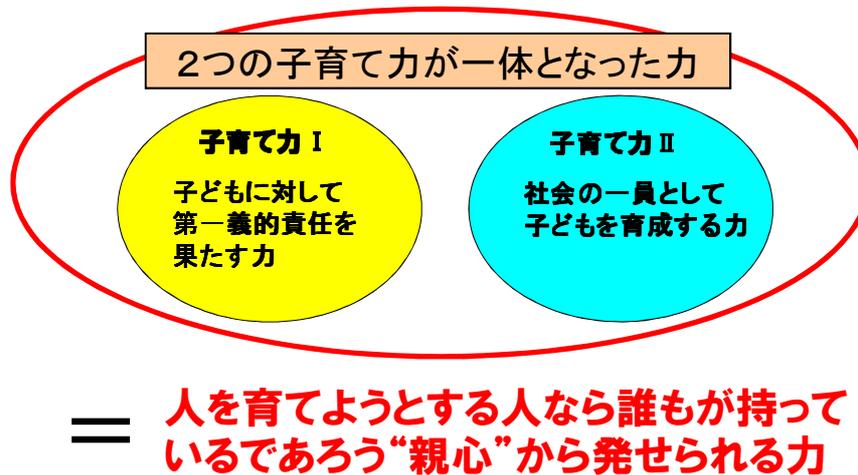
- 1 「親プロ」とは
- 2 「親プロ」ファシリテーターの現状
- 3 ネットワーク化を実践している事例
- 4 今後の方向性
- 5 ファシリテーターのネットワーク化を図るために
- 6 参考文献, ヒアリング日時等

## 1 「親プロ」とは



## (1)「親の力」の定義

このプログラムにおける「親の力」とは…



## (2)参加型のプログラム

講演を聴くなどの従来の  
「講義型」の学習方法



参加者が  
“学びの主体”となる  
「参加型」の学習方法

子育てを振り返り学びあう中で、親が「自ら気づき」「自ら学べる」力を！

★このプログラムに「正解」はありません。

うちとける



アイスブレイクで、簡単なゲームを通じてリラックスした雰囲気。

話し合う



ワークシートを使って、思いや意見をグループで出し合い、考えを広げます。

気づく



話し合いをふりかえり、「気づき」が生まれます。

### (3) 33種類のワークシート(教材)

子育て段階に応じた学習プログラム(28種類)

段階	対象
子育て準備期	中学・高校生など青少年, まもなく親になる人
子育て前期	0歳児の親～小学校3年生の親
子育て後期	小学校4～6年生, 中学・高校生の親
子育て支援期	中高年など子育て支援者

多様化する現代的課題に対応したプログラム(3種類)

赤ちゃんや小さい子どもがいる家庭での読み聞かせ支援のプログラム(2種類)

学習のすすめ方



ワークシート(教材)



### (4) ファシリテーターによる講座の進行

県又は市町の養成講座を修了した方が、ファシリテーターとして講座を進行します。

#### ファシリテーターの役割

- ①参加者の「自ら気づき, まなぶ力」を引き出す
- ②ファシリテーターは、「語り手」ではなく「聞き手」になる
- ③参加者もファシリテーターも対等な関係を意識し, 力の均衡(パワーバランス)を大切にする
- ④参加者同士をつなぐコーディネーターでもある
- ⑤深刻な問題の場合は専門の機関を紹介する
- ⑥いろいろな人の存在を意識する



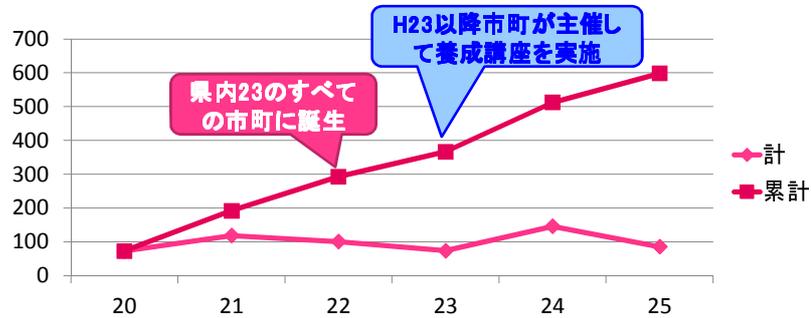
## (5)これまでの取組

平成	事業等	取組
18～19	文部科学省委託事業 「家庭教育支援総合推進事業」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「親の教育力を高めるプログラム開発検討委員会」の設置</li> <li>●「『親の力』をまなびあう学習プログラム」の開発(24種類)</li> </ul>
20～22	単県事業 「家庭教育応援プロジェクト事業」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(出前)講座の実施</li> <li>●ファシリテーター養成講座の開催</li> <li>●市町単位のファシリテーター交流会の開催</li> </ul>
23～25	単県事業 「家庭教育支援事業」	<p><b>市町における取組への支援へシフト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ファシリテーター「ステップアップ」研修の開催</li> <li>●市町が主催するファシリテーター養成講座への支援</li> <li>●新たな場の開拓</li> <li>●現代的課題に対応した新規開発教材の開発</li> </ul>

## 2 「親プロ」ファシリテーターの現状



### (1) ファシリテーター養成講座を修了した人の数



年度	20	21	22	23	24	25
県主催	67	61	40	—	—	—
市町主催	6	58	61	74	146	86
計	73	119	101	74	146	86
累計	73	192	293	367	513	599

単位(人)

市町が主体となって取組を始めたH23～25の3年間で検証する

### (2) ファシリテーターの稼働率など

	その年度までに登録された人数	講座に派遣されたファシリテーターの人数	稼働率(%)	講座数
H23	367	84	22.9	154
H24	513	97	18.9	247
H25	599	110	18.4	268

稼働率 = 講座に派遣されたファシリテーターの数 ÷ その年度までに登録された人数 × 100

登録された人数、講座数及び派遣された人の数は増加しているが、稼働率は減少している。

### (3) 市町が主催した養成講座の修了者の派遣

	養成講座 実施市町数	修了者数	H23に講座に 派遣された ファシリテー ターの人数	H24に講座に 派遣された ファシリテー ターの人数	H25に講座に 派遣された ファシリテー ターの人数
H23	8	74	15 (20.3%)	13 (17.6%)	10 (13.5%)
H24	11	146		21 (14.4%)	27 (18.5%)
H25	7	86			18 (20.9%)

( )内は派遣率 派遣率＝派遣された数÷修了者数×100

ファシリテーターとなっても、約8割の人は講座に派遣されていない。

### (4) 派遣の実際

	講座に派遣され たファシリテー ターの合計人数	H22以前に修了 した方で講座に 派遣された人数	H23以降に修了 した方で講座に 派遣された人数
H23	84	69 (82.1%)	15 (17.9%)
H24	97	63 (64.9%)	34 (35.1%)
H25	110	55 (50%)	55 (50%)

( )内は、全体のうちの割合

平成23年度以降に市町で養成された方の派遣が年度ごとに増加している。

### (5) ステップアップ研修の参加者数

	参加市町数	参加者合計	H22以前の 修了者の 参加者数	H23以降の 修了者の 参加者数
H23	14	79	74 (93.7%)	
H24	19	115	97 (84.3%)	16 (13.9%)
H25	18	124	64 (51.6%)	57 (46.0%)

( )内は、全体のうちの割合

研修参加者のうち、経験年数の若いファシリテーターの割合が増加している。

### (6) 派遣されたファシリテーターのステップアップ研修参加率

	派遣された 人数	うち研修へ参 加した人数	参加率(%)
H23	84	45	53.6
H24	97	63	64.9
H25	110	65	59.1

参加率＝うち研修へ参加した人数÷派遣された人数×100

派遣されたファシリテーターの半数以上が、ステップアップ研修へ参加している。

## 現状から見えてきたもの

- 平成22年度以前に養成されたファシリテーターは、派遣に応じる割合及び研修への参加率が減少傾向にある。逆に平成23年度以降に養成されたファシリテーターは、両割合ともに増加傾向にある。
- 一方で、派遣に応じたファシリテーターは研修にも参加する傾向がある。



養成されたファシリテーターの活動を継続したものにするためには、ファシリテーターの研修や交流の機会を設定することが有効的である。

## 3 県内で研修や交流の盛んな市町の事例



## (1)尾道市

平成22年度に家庭教育応援プロジェクトチーム「すまいるぱれっと」を6名のファシリテーターで結成した。

### 活動の内容等(平成26年度末現在4名で活動)

- 毎月1回定例会を実施(生涯学習課も同席)  
内容:講座の振り返り及び予定の講座の展開案等の検討等
- 主催者の要望に応じたワークシートの作成
- 幼・保・小・中への講座実施の働きかけ
- 研修会の実施(予算:生涯学習課より)

### 担当課(生涯学習課)の支援の具体

- 平成25年度から「親プロ」を『尾道市出前講座』として実施
- 広報・啓発用リーフレットの作成
- 講座の窓口及び講座実施の際の同行
- 代表者会議等で事業説明及び実施要項配布
- 「すまいるぱれっと」を含め家庭教育支援関係者対象の研修の場の設定
- 定例会への参加

## (2)福山市

### 福山市のシステム

講座実施については、6つの地域の生涯学習センターが各地域の窓口となっており、ファシリテーターの調整も行う。

### 担当課(生涯学習課)の支援の具体

- フォローアップ研修の実施  
アンケートをもとにファシリテーターのニーズに合った内容で実施
- ファシリテーター養成講座を年1回開催
- 生涯学習センターの担当者会議を年6回程度の実施

### 担当部署(生涯学習センター)の支援の具体

- 担当者が、主催者及びファシリテーターと事前打合せを行い講座へ参加し、調整を行う。
- 講座実施の窓口
- 各センターでファシリテーター交流会の実施  
派遣の調整及び意見交換等の交流を行う。

### (3) 府中市

平成24年度にある施設での講座実施を契機にファシリテーターのグループ化を実施した。

#### 活動の内容等

- 隔月1回の定例会の実施
- 講座の展開案の検討
- 展開案のデータベース化
- 講座に必要な小物(三つの約束等)の準備
- 養成講座実施に向けての準備
- 他市町との連携

#### 担当課(生涯学習課)の支援の具体

- 定例会の連絡
- 事務局的な役割
- リーフレット, 養成講座実施要項等の作成
- 体験講座の計画及び実施
- 講座実施の働きかけ及び広報

### (4) 東広島市

平成24年度に三ツ城小学校区のファシリテーターでグループを結成した。(他市町の取組を参考)

#### 活動の内容等

- 毎月1回定例会を実施(生涯学習課も同席)  
展開案の検討及び情報交換等
- 講座実施の働きかけ及び広報
- 自主企画講座の実施(受講者を募集し, 講座を実施している。)
- 養成講座の支援

#### 担当課(生涯学習課)の支援の具体

- ファシリテーター対象の研修の実施
- 情報提供

## (5) 府中町

平成25年度にファシリテーターの調整機関として、「親プロファシリテーターコーディネーターグループ」を結成した。

### 活動の内容等

- 毎月1回の定例会を実施。  
内容によっては、複数回の場合もある。
- ステップアップ研修を計画
- 地域課題に対応した「親プロ」独自ワークシート(教材)の開発
- 将来的には、調整機関になることを視野に活動

### 担当課(社会教育課)の支援の具体

- 当グループの事務的な面を支援
- 講座実施の窓口機関でもあり、ファシリテーターの調整
- 研修支援
- 情報提供等
- 助成金等の手続き

## (6) 世羅町

平成20年度に「Pくらぶせら」を社会教育課の支援により結成した。

### 活動の内容等

- 講座実施日に合わせて、会議を随時開催  
内容: 展開案の検討及び役割分担等
- 養成講座修了者は、自動的に当団体に加入するシステムとなっている。

### 担当課(社会教育課)の支援の具体

- 講座開催の窓口となり、講座開催時には担当者が同行する。
- 家庭教育支援の1つのツールとして町内への広報
- 活動支援の予算措置

## これらの実践事例から

### 担当課が取り組んだ方が良い支援のポイント

- ① 定期的集まる場の設定の支援  
会場確保, 日程の調整連絡等の事務的な役割等
- ② 研修支援  
研修の企画, 運営, 予算措置等  
県の研修の情報提供及び伝達講習の実施等
- ③ 「親プロ」広報及び派遣の調整  
社会教育施設等への広報に加え, 各代表者会議等での事業説明及び広報  
ファシリテーターのバランスのとれた調整

ネットワーク形成

## 4 今後の方向性

～県が支援すべきこと～



## (1) ファシリテーターへの支援

(市町と連携しながら支援する。)

○ネットワーク化を行っている好事例を参考として、各市町内のネットワーク化を働きかける。

○ステップアップ研修の内容について、ファシリテーターに必要な知識・技能を更に向上させられるものに充実させる。

○その中で、経験の多いファシリテーターは経験の少ないファシリテーターの支援を行うなど、お互いがお互いから学び合う研修を実施する。

○各市町のファシリテーター同士が情報交換等を行う機会を設けることにより、市町を超えたゆるやかなネットワークの構築を可能とする。

## (2) 市町への支援

○ファシリテーターのネットワーク化を進めるに当たっての市町の状況に応じた具体的な助言を行う。

○ファシリテーターのスキルアップを図る研修を計画的に行えるように支援及び先進的事例の情報提供を行う。

○社会教育施設及び関係機関等への講座実施の広報及び働きかけを行い、活動の場の拡充を支援する。

○講座を実施する際にファシリテーターの経験の多い方及び少ない方のバランスを考えた派遣など、活動の場がより確保されるような手立てを助言する。

## 5 ファシリテーターの ネットワーク化を 図るために



### ネットワーク化の手引き

※この流れはあくまで一例です。

#### ☆ファシリテーターの活動の実態を把握しましょう。

- ・自分の地域の、ファシリテーター登録数、講座への派遣数の確認
- ・ファシリテーターの一人一人の活動状況把握、講座派遣に対する意識の確認、ネットワーク化への呼びかけ

#### ☆派遣実施をみんなの学びの場にしましょう。

- ・派遣を実施する際には、参観を呼び掛け、お互いに学び合う環境づくり
- ・SNSやメール等を活用した講座情報(実施前及び実施後)の発信

## ネットワーク化の手引き

※この流れはあくまで一例です。

### ☆「親プロ」ファシリテーターを組織化しましょう。

- ・事務局は家庭教育支援担当課とする。
- ・事務局がファシリテーターが一堂に会する場を設定する。

<一堂に会した場において>

- ・事務局からのネットワーク化の趣旨説明
- ・ファシリテーター代表選出(事務局からの推薦等)
- ・今後の活動に関する協議(定例会や研修会等の実施等)
- ・年度の講座数,稼働率等の目標値の設定
- ・ファシリテーターと事務局の役割分担の確認等

## ネットワーク化の先に見えるもの

### ☆自分の市町の「家庭教育支援」ビジョンの中の一つとしての「親プロ」の取組み

「親プロ」が持続可能な取組になる



行政ができることは行政で、ファシリテーターができることはファシリテーターで、段階的に進めていきましょう。

## 6 参考文献, ヒアリング日時等



### 参考文献, ヒアリング日時等

- ① 松田愛子「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を持続可能な取組としていくために～ファシリテーターの果たす役割を中心に～ 平成24年度研究成果報告書
- ② 福山市市民局まちづくり推進部生涯学習課 小林由希子主事 平成26年12月16日ヒアリング実施
- ③ 尾道市 すまいるぱれっと 緒方恵理子「親の力」をまなびあう学習プログラムファシリテーター 平成26年12月16日ヒアリング実施
- ④ 緒方恵理子 宮本孝子「寄って 話して 自ら気づく ～子どもたちの笑顔のために～」平成26年度竹原市立公民館職員等研修会資料
- ⑤ 尾道市教育委員会生涯学習課 西田弘子主任 平成26年12月17日ヒアリング実施
- ⑥ 世羅町 Pくらぶせら 林幸江「親の力」をまなびあう学習プログラムファシリテーター 平成26年12月17日ヒアリング実施
- ⑦ 世羅町せらにシタウンセンター 森 健所長 平成26年12月17日ヒアリング実施
- ⑧ 東広島市三ツ城コミュニティハウス 古玉菊江副所長 平成26年12月17日ヒアリング実施
- ⑨ 東広島市教育委員会生涯学習課 河内久美子主任 平成26年12月17日ヒアリング実施
- ⑩ 府中町教育委員会社会教育課 幅野得恵主任 平成26年12月18日ヒアリング実施
- ⑪ 府中市教育委員会生涯学習課 稲田勝治主任 平成26年12月18日ヒアリング実施
- ⑫ 社会福祉法人光彩会和光園保育所 岡本由姫美所長 平成26年12月18日ヒアリング実施